

(個人)

(報告：田中)

立山(雄山3,005m、大汝山3,015m)

【日時】平成25年9月8日(日)～10日(火)(2泊3日)

【メンバー】P&L 田中

(計 1 名)

【行動記録】

①大宮(3時7分)―立山駅(9時18分)―美女平(9時57分)―室堂山荘(11時20分)(泊)

②室堂山荘(5時)…雄山(6時47分)…大汝山(7時38分)…富士ノ折立(8時4分)…真砂岳(9時)…別山(10時5分)…剣午前小舎(10時55分)…みくりが池温泉(13時1分)(泊)

③室堂バスターミナル(8時)―立山駅―立山IC―東松山IC―大宮(1.5時)

行動時間 6時間39分

【装備・食料等】

【個人】ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、ツエルト、水、昼食、行動食

【感想】

美女平からの高原バスは雨の中を走った。立山室堂山荘には昼前に到着したが、部屋に通してくれたので、温泉に浸かりのんびり過ごした。夕方から陽が出てきたので、室堂平を散策し、翌日に備えた。夏には白い5弁の花をつけていたチングルマは、その姿を薄茶色の綿毛に変え、黄葉した葉とともに、秋の訪れを告げていた。

翌朝、朝食を弁当に変えてもらい、まだ薄暗い山荘を後に石の道を雄山に向かった。凍りついた雪渓が行く手を阻んでいた。滑って一歩が踏み出せない。先を行くハイカーが道を下り、雪を避けて回り込むように指で教えてくれた。一ノ越に着いた時には、青空に変わっていて、北アルプスの山々が一望できた。富士山も見えたが、薬師岳の姿が際立ってきれいだった。雄山では山頂の神社でお祈りしてもらい、秋晴れの空の下、奥大日岳を左前方に見ながら、最高峰の大汝山を越えて、富士ノ折立、別山へと進んだ。間近に見た剣岳は、どっしりとして魅力的だった。

